

Newsletter



日本教育情報学会
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

NO. 88 2000. 6. 8

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel 03-5470-2370 Fax 03-5487-8779 インターネット以 <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

日本教育情報学会 第16回年会のご案内

先にお知らせしましたように、本年度の年会は11月に岐阜女子大学文化情報研究センターを会場に開催いたします。本日、大会の概要と研究発表の応募に関する内容をお知らせいたします。

下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加と発表をお待ちしております。

期 日 2000年11月11日(土)・12日(日)

会 場 岐阜女子大学文化情報研究センター (岐阜市明德町10 杉山ビル内)

事務局 岐阜女子大学文化情報研究センター内 日本教育情報学会第16回年会実行委員会

日 程

11月11日(土)		11月12日(日)	
9:30~12:00	研究発表	9:30~12:00	研究発表
12:00~13:00	昼食	12:00~13:00	昼食
13:00~13:40	総会 学会賞表彰式	13:00~15:00	研究発表
14:00~15:30	シンポジウム	15:10~17:00	パネル討論
15:40~17:50	研究発表		
18:00~19:30	懇親会		

(1) シンポジウム・パネル討論

○ テーマ「21世紀の教育と教育情報」

1) シンポジウム

「学校・家庭・地域社会の連携と情報」(予定)

衛星通信、インターネット、ビデオ、オンディマンドなどの情報技術を用いた教育の多様化が進み、21世紀に向けた、学校・家庭・地域社会それぞれの役割と責任をもとに連携した新しい教育システムの構成が必要となってきた。

今回、テレビ電話、インターネット等による学校と家庭および学校と地域の施設の連携、総合的な教育情報データベースなど、教育が社会の情報化に対処すべき課題について検討する。

2) パネル討論

「デジタル・アーカイブ化の課題 ～教育利用を目的として～」

教育センター、各学校、博物館、企業、大学、市町村などで多くの資料をデジタル化し、それらの利用がインターネット、CDなどを用いて可能な状況になってきた。今後のデジタル・アーカイブ化の課題とその方向性を検討したい。

(2) 課題研究テーマ

課題1. 「地域文化情報メディアと教育」

地域を基盤にした教育が各分野で実践されているが、地域の文化資料をデジタル化し、新しい教育メディアとしての活用が必要とされだし、研究が進みだした。このため、地域資料のデジタル化と、その流通、教育利用の実践をもとにした今後の在り方について検討したい。

課題2. 「情報教育と総合的な学習」

小学校・中学校・高校での情報処理教育の体系的なカリキュラム、教育実践をもとに、総合的な学習での情報教育の方法・実例について検討したい。とくに、小、中、高等学校での情報教育の体系化についての実践報告。

課題3. 「教科教育と情報活用」

各教科で教師がコンピュータ等を用いた資料の提示、衛星通信等を用いた教育、学習者の情報処理活動などが最近の情報技術の発展により情報活用を検討すべき時期になってきた。このため今回、教育を進めるときの基礎として必要な情報処理、そこで利用する資料などについて、実践研究をもとに検討したい。

課題4. 「遠隔教育」

大学・大学院における衛星通信放送を用いた遠隔教育、小学校、中学校、高等学校、テレビ会議等を用いた遠隔教育など、新しい教育の方法が進みだし、また、今回その教育実践をもとに新しい教育システムとしての遠隔教育の利用について検討したい。

(3) コンクール

「デジタル・アーカイブ」～文化情報メディアの作成～

共催：学習システム研究会、地域資料デジタル・アーカイブ協議会、岐阜女子大学文化情報研究センター

※コンクールの参加要項は、次号でお知らせします。

(4) 一般研究発表

1) 発表申込者 会員および会員に準ずるもの。

2) 発表分野

①本会定款第4条(目的)にあるように、「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。教育情報は大きく見て教育に関する情報と情報に関する教育が含まれます。

②これまでの発表セッションは次のとおりです。

教育情報一般、教育システム、遠隔教育、コンテンツ(情報の内容)、マルチメディア、情報教育、インターネット、教育情報ネットワーク、生涯学習、データベース、教科教育、教育用ソフト一般、学習ソフト開発、教材開発、情報システム開発、情報処理教育、ツールソフト利用教育、シミュレーション学習、情報検索教育、教育用ソフトウェア、学習評価、授業分析

3) 発表申込み関係スケジュール

①発表申込締切 2000年 7月14日(金)

②発表決定通知 2000年 8月 4日(金)

③論文提出締切 2000年 9月22日(金)

いずれも締切日必着でお願いします。

4) 発表申込方法

①「年会一般研究申込書」に必要事項を記入の上、申込締切日(7月14日)までに、第16回年会実行委員会事務局(後記)へ送付してください。

②研究発表会場で口頭発表できるのは、会員1人について一般研究1件だけです。口頭発表する会員を、申込書の「講演者」の欄に書いてください。

5) 申込書の書き方

①年会一般研究発表申込書は、一般研究発表表1件について1枚とします。

②講演者とは、研究発表会場で、口頭発表をする会員です。

③共同研究者は何人でもかまいません。

④概要はなるべく詳細に書いてください。

⑤キーワードとして、上記発表セッション名の中からの数語を含めて10語以内を選んでください。

⑥会場で使用できる機器は、書画カメラまたはOHP(教室による)とVTRです。パソコンは会場に用意できませんので、使用する場合は持参する機器の欄に記入してください。

6) 発表者への連絡

①発表者には、8月4日頃発表の可否を連絡します。

②発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。

③論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

(5) 課題研究発表

課題研究は前記(2)のテーマにより各分野から発表していただく予定です。

1) 課題研究の審査

- ①課題研究発表は、各テーマごとに担当コーディネータが発表概要を詳細に検討し、発表の可否について審査します。
- ②発表の可否は、発表内容だけでなく、全体の発表件数を考慮して決定しますので、発表否となる場合もあることをご了承ください。
- ③課題研究として発表できない場合には、一般発表を別に申し込んでいても課題研究分を一般発表として発表していただくことができます。

2) 課題研究の申込方法

- ①年会課題研究発表申込書(同封の申込用紙左側)に必要事項を記入の上、申込締切日(7月14日)までに、第16回年会実行委員会事務局へ送付してください。
- ②他の事項は、前述の一般研究発表申込方法、申込書の書き方、発表者への連絡を参考にしてください。なお、記入の際に課題研究テーマ番号を該当欄に明記してください。

(6) 参加費

・会員の予約の場合

参加費 3,000円 資料代 3,000円 懇親会費 5,000円

・会員の当日の参加, または会員外

参加費 4,000円 資料代 3,000円 懇親会費 5,000円
(今回は、発表申込のみです。参加申込は後日行います。(7月予定))

※ 会員でない方々(小・中・高校・専門学校の先生方、企業の方々など)も会員に準じて発表できるようにする方法をとる予定ですので、ご希望の方は年会事務局へご連絡ください。

(7) 宿泊について 宿泊については、各自でご手配お願いいたします。

発表申込書送付先・問合せ先

送付先: 〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10 杉山ビル 4階
岐阜女子大学文化情報研究センター 内
日本教育情報学会 第16回年会実行委員会事務局 (担当: 谷口)
Tel 058-267-5237 Fax 058-267-5238
E-mail 16gakkai@gijodai.ac.jp